

合掌

猛暑の中、皆様には益々ご壮健にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、先般七月六日の西日本集中豪雨による了徳寺庫裏の一部・門信徒会館・勉強会教室・事務室の床上浸水・倉庫・車庫の水没被害に対し、当日大雨の最中より駆けつけてくださった皆様を始め、翌日よりお忙しい中にもかかわらず片付けのお手伝いをしていただきました皆様、今日に至るまでたくさんのお励ましの言葉、心のこもった差し入れ、身に余るお心遣いを届けてくださった皆様、被災後二ヶ月が経ち、ご挨拶をご無沙汰しております。誠に申し訳ございません。改めまして、今回の皆さまのご温情に対し厚く厚く衷心よりお礼申し上げます。次第でございます。

この度は広島県にとりましては未曾有の甚大災害となり、未だ復旧の見通しのつかぬ地域や堪えがたい苦痛を強いられている方々がたくさんいらっしゃる中でございます。一日も早い復興を心から願うばかりでございます。こうした状況下で当方に対しては、皆様方の温かい思いやりをいただき、渦中、多いに勇

気をもらいながらの復旧作業が出来ました。また、被害が最小限度にとどまったことに安堵させていただきましたばかりか、如何に恵まれて今あるかを痛切に思い知らされたことでございます。日暮らしを喜ばせてもらう事を、在り難くいただくことへの深い感謝をさせてもらわねばなりません。正に先人の教訓である『お陰を知る』体感をさせていただいたことでもあります。

申し遅れましたが、被災後三週間ほどで通常の生活に戻り、屋内の荷物の整理を若干残しつつも、先日八月二十四日に、被災に対する行政の事務処理を終了しましたことを報告させていただきます。

重ね重ね改めて皆様方よりいただきました尊いご厚情に感謝申し上げます。在り難うございました。命の危険に関わる災害レベルの日々がまだ続きそうです。呉々もご自愛のほどお念じ申し上げます。

寸書にて失礼ながらお礼のご挨拶とさせていただきます。

再拝

二〇一八年八月二十九日

了徳寺 住 職

穴戸隆尚

寺族一同

総合学習支援塾

穴戸勉強会代表

穴戸隆尚

職員一同

みなさまへ